語学教材の出版を手掛けるアルクが17日発表した2011年1月期連結決算によると、最終損益が3億
5000
万円の赤字（決算期変更の影響で
8
カ月決算だった前の期は
2
億
6400
万円の赤字）だったことがわかった。従来予想は
2800
万円の黒字。通信教材など棚卸資産の評価減や、利益率の低い研修事業の増加で採算が悪化したという。アルクの売上高は
75
億円（同
44
億円）。